

日本医療福祉生協連近畿ブロック有志

ボランティアセンター 東日本大震災支援ニュース

NO. 3 2011年5月7日 発行担当 尼崎医療生協・瀬井

午前中は、岩沼市の組合員訪問へ 懸命に暮らしている組合員の皆さん

1件目は元長町病院の看護師で、阪神大震災時は東神戸病院に1週間泊まりこんで支援もいただいた方。今は退職金をつぎこんで岩沼市にデイサービスを立ち上げている。デイサービスは1m程度浸水、3月28日より借家でのデイサービスを開始、その間に3000万円かけての修繕を行い、5月11日から元の場所での運営を準備中。物資はたくさん届いており（関係団体の事務局をやっているためたくさん届き、他に配ったりしている状況）、仕分けが追いつかない。こちらからはお米など最低限のものをお渡しし、逆にチロルチョコ等のお菓子があつたので、山元町の第一号仮設住宅（子どもが多い）で配るのでといただいて帰った。2件目は小さなお子さん2人のお宅。お母さんが組合員だったが亡くなられた名義変更の手続きをする予定でもあつた。床下浸水。当初は家に戻れず避難所。車1台、エアコン、給湯設備が水につかりダメに。当初はオムツが手に入らず本当に困った。庭の片付けはボランティアに。本日お持ちしたオムツ等は大変喜んでお渡しすることができたもっと早い時期に訪問できればよかつたなあとと思う。子どもさんには、先ほどいただいたお菓子の中にあつたアンパンマンのお菓子を渡すと大喜び。3件目は家がまるごと流されて避難所にいたが、最近借家に引っ越された方本日は留守とのことであつたが電話で聞き取つた支援物資を玄関先に置いて帰る。各自治体で借家の避難者に対して仮設住宅扱いとし一定の家賃補助があるので、この資料も置いて帰った。申込期間が5月中のため、急いでフォローをしていきたい。



午後は、日課である役場と避難所等の訪問 避難所暮らしは限界の時期に

役場では、最新資料を手に入れます。消石灰は町から1世帯3袋もらえます（前回は買いました）。自衛隊診療所が山下小学校に開設されました。軽症者が対象で慢性疾患は対象外です。ちなみに避難所の巡回診療は9日で終わるそうです。その後、りんごラジオ金子さん、町ボランティアセンターへニュースを届けました。

（坂元中避難所）凍傷治療中のMさん。加藤さんに紹介いただいた方。みんな仮設が決まっていくが自分が決まらないのでとても不安。28歳の息子さんを以前亡くされ、今回ご主人を津波で亡くされ、色々と1人で考えたいがここでは考えられない…涙。前区長のSさん。自分も仮設に決まったが、辞退してきた。ここの避難所の全員が入るまで自分が先には行けない。行政に対する意見についても少し聞かせていただいた。なんと素晴らしい方か。坂元中では、今日はミニコンサートが開催されていた。ヘルスコープおおさかの黒田さんがチロルチョコとアンパンマンのお菓子を、避難所にいた子どもたちに配り喜ばれた。



（坂元支所）Sさんに、半袖Tシャツを届けた。今日のご主人と息子さんが家に戻りもって行ける荷物の運び出しに。ご主人は肺気腫。避難後軽い脳梗塞をおこしたそうで心配。仮設が決まらない。病院が近くなければご主人の病気の関係で難しい。借家も検討しているが病院の近くにあればいいが…。

（坂元町）障子張りや床下泥だしをしたお宅に希望されていた当日の記念写真を届けて喜ばれた。周辺のごみ回収はいまだに進んでいない。泥だしをしたSさん宅では、来週まで風を通し、床を戻しましょうと約束。

（真庭区民会館）明日は餅つきをしながら支援物資のもつてけ市。真庭区民のみなさんにも呼びかけている。その準備を支援物資担当の方の指示を受けながらお手伝い。支援物資担当のSさんも随分疲れておられる。ずいぶん区民会館の方とは仲良くなれた。真庭で2人の方が使っているシルバーカーを仮設移動時に返却しなければいけないと嘆いていられた件について、遠藤町会議員に動いていただき、機械的には対応しないとの町からの返事をいただくことができた。—